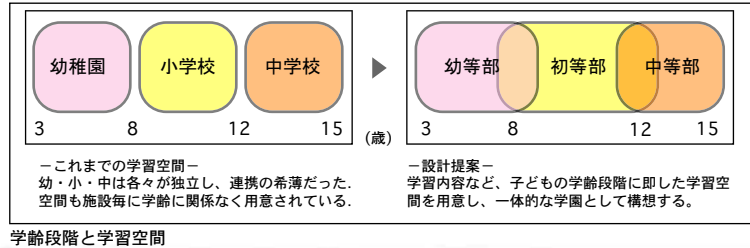
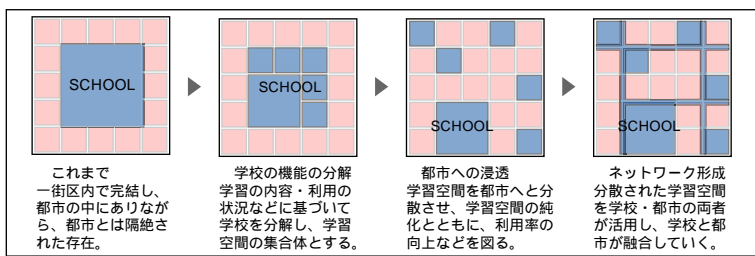


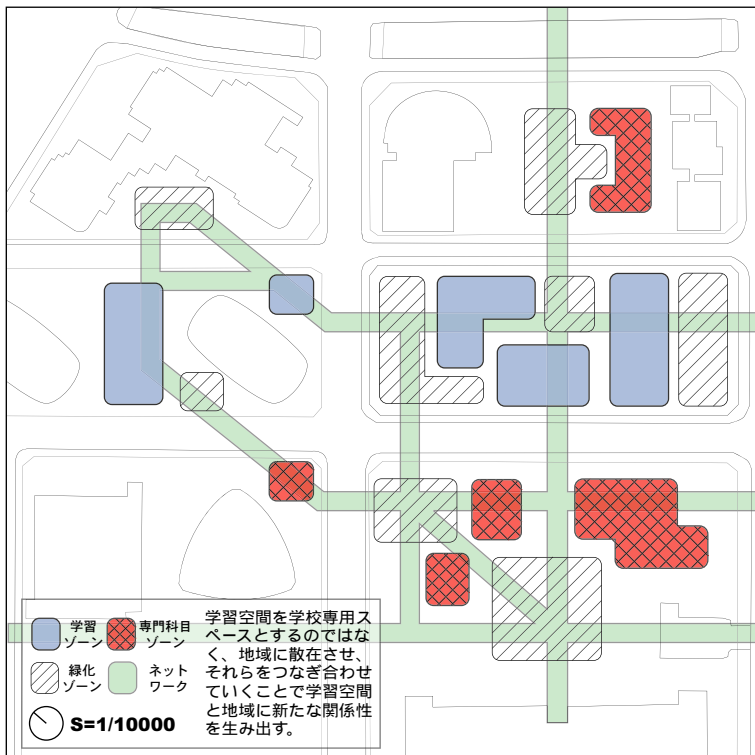
計画敷地説明図



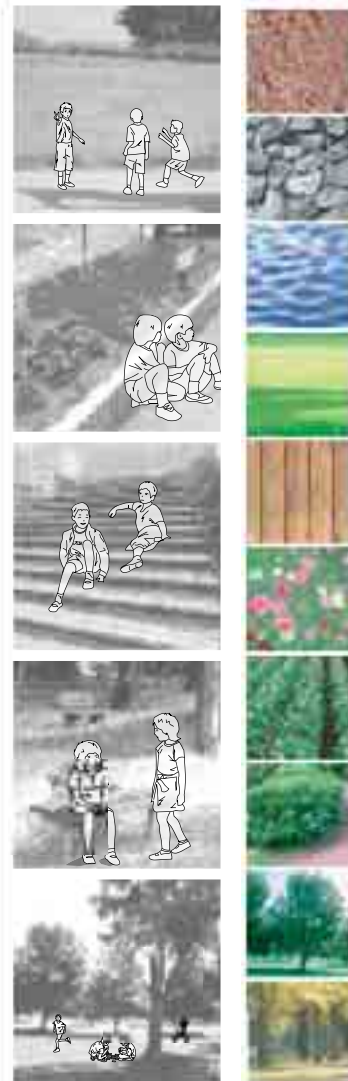
学齢段階と学習空間



学校と街 - ネットワーク形成ダイアグラム -

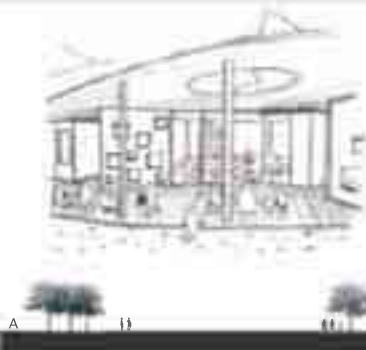


ゾーニング及び緑のネットワーク説明ダイアグラム



■総合教室型

一つの空間内に多様な学習場所を設ける。3~5歳クラス(2タイプ)と5~7歳クラス(3タイプ)で構成し、発達状況に応じた緩やかな学習空間の移り変わりを実現している。



A A-A' 断面図 S=1/800

■理数系科目教科教室

生活科や理数系科目に特化した空間構成とする。ビオトープに面し、実際に自然環境など、ものに触れながらの体験的な学習ができる場所を提案する。



A A-A' 断面図 S=1/800

■特別教室型

学習内容の多様化に伴って個人学習・グループ学習に特化した空間構成とする。また、様々な空間の組み合わせにより、多様なコーナーを作り出し、魅力ある学習空間を演出した。



a a-a' 立面図 S=1/800

■芸術系科目教科教室

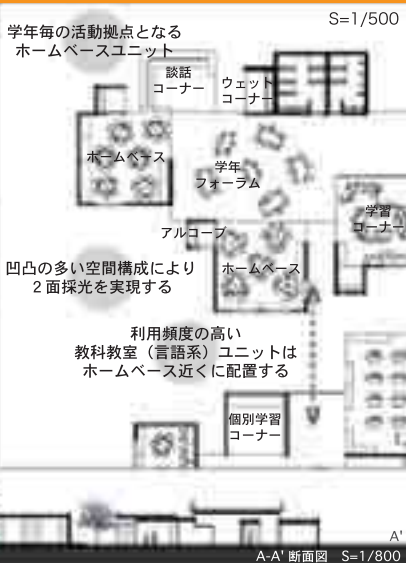
美術系科目に特化した空間構成とする。美術館との連携も図り、教科書ではなく生の芸術に触れ、感性を動かすような機会を与える場とする。



a a-a' 立面図 S=1/800

■教科教室型

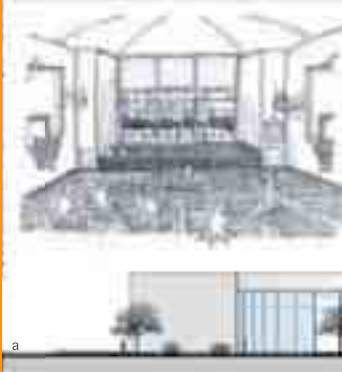
学習内容の高度化に伴って教科に特化した空間構成とする。児童・生徒がそれらの空間を移動しながら学習活動を展開する。また、利用率の高い言語系科目教室をホームベース近くに配置し、効率化を図っている。



A A-A' 断面図 S=1/800

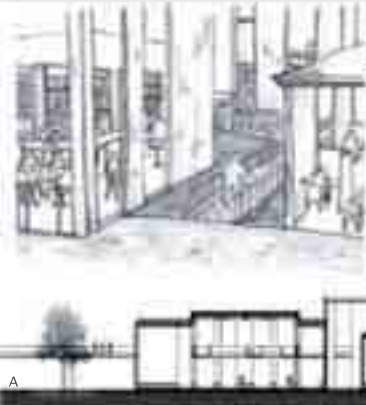
■屋内総合施設

運動系科目に特化した空間構成とする。体育館・格技室・プールを一体的に計画し、屋内総合スポーツセンターとする。また、舞台は屋外ともつながり、屋外ステージとしても利用可能な計画とする。



a a-a' 立面図 S=1/1200

図書室やパソコンコーナーなど各種メディアを集結した空間とし、地域ネットワークの核として計画する。総合学習をはじめとして児童・生徒の『学びの活動』の拠点とするとともに、児童・生徒、住民の触れ合いの場としてデザインする。



A A-A' 断面図 S=1/800

■家庭科及び多目的・サークル室

被服・調理など家庭科を中心として、街の人々が気軽に利用できる学習空間を用意する。多目的室やサークル室として利用でき、学校では利用率の低かった空間の高利用率の実現を図る。



a a-a' 立面図 S=1/400



様々な機能を持った学習空間を一つの敷地内で完結させることなく、地域に散在させる。それらをつなぎ合わせるようにネットワークの形成およびランドスケープのデザインを行うことで都市と学習施設との関係を密なものとして計画し、都市一体型学園キャンパスを構想した。

学習空間の機能と周辺環境を考慮した配置計画、都市の表情としてのボリューム決定を行うことで、新たな学習空間の提案とともに、新たな都市の表情を造り出している。

## 幼等部



様々な活動を垣間みることのできる空間構成

## 初等部



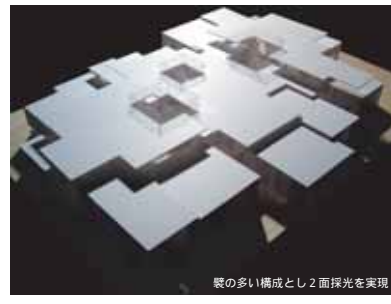
大小さまざまな空間が用意されたオープンスペース



刻一刻と変化する表情を楽しむ子どもたち



内外の連続性のある計画



寝の多い構成とし2面採光を実現



外部が随所に入り込んだ空間構成

こどもの遊び心を誘発する場所を随所にデザインした

多様な空間構成により柔軟に学習展開に対応する